

Tekla Structures News Summer 2007



内容

- [Tekla Structures 13 がリリースされています！](#)
- [優れた新機能とメリット](#)
- [BSAへの参加でソフトウェアの違法コピーに対応](#)
- [建設のプロジェクト全体を通じた統合的コラボレーション](#)
- [初期基本設計段階での IFC2x3標準規格との密接なコラボレーション](#)
- [本日のお役立ちヒント: ショートカットを活用しましょう!](#)



◀ Tekla Structures 13 がリリースされています！

Tekla Structures 13は、すでに多くのユーザーにダウンロードしていただき、実際のプロジェクトに活用されています。ソフトウェアの最新バージョンはTeklaのエクストラネットからダウンロードしていただくことができます。最新バージョンは、ユーザーの皆様の声を取り入れ、Tekla Structuresの既存機能の向上に特に注力しています。例えば、一般図に対する自動寸法機能の追加や、効率的なフィルタリングによる図面リストの改善などが加わっています。最新機能やメリットを見やすくまとめたリーフレットをご覧ください。

Tekla Structures 13は、<http://extranet.tekla.com/login.asp> からダウンロードすることができます。まだエクストラネットをご利用されていないお客様はこの機会にまずご登録ください。インストールすると、オンラインヘルプの一部として最新機能の情報や便利なキーボードショートカットリストなどが入ります。

[トップページに戻る](#)

> 優れた新機能とメリット

Tekla Structures 13の最新情報および新機能をぜひご覧ください。優れた新機能とメリットを簡単にご紹介します。

> [What's new leaflet \(pdf\)](#)



[トップページに戻る](#)



↳ BSAへの参加でソフトウェアの違法コピーに対応

ソフトウェアおよびハードウェアの業界をリードする大手企業と同様、Teklaは、ビジネスソフトウェアアライアンス (BSA)へ参加いたしました。同アライアンスメンバーとして、弊社は違法コピー撲滅プログラムに参加しています。弊社は、EMEAおよびアジア・太平洋地域での違法コピー撲滅メンバーとしてビジネスソフトウェアアライアンス (BSA)に参加しています。「BSAのメンバーとなったことで、国際的ネットワークを活用した公平な競争が確保され、弊社のお客様の投資をより安全に守ることができるようになりました。BSAとの密接な活動を通して、弊社製品の正規バージョンを使用することの重要性を、建築業界にも積極的に啓発する活動に取り組みます」とTekla社長兼CEOを務める Ari Kohonenは述べています。

BSAは、ソフトウェア業界の違法コピー撲滅を目指して設立された非営利団体です。世界中で急速な発展を遂げた同団体は、メンバー企業やその販売店とともに活動を行っています。BSAのプログラムは、著作権保護、サイバーセキュリティ、トレード、eコマースを促進し、啓発教育やポリシーイニシアティブを通して技術革新を保護するものです。Adobe、Apple、IBM、Microsoft、SAPなど、大手ソフトウェア企業もBSAのメンバーとして参加しています。BSAは、米国ワシントンD.C.に本拠を置き、80カ国以上にメンバーを擁する世界規模の団体です。

Teklaは、Monotype Imaging Inc、CA Inc、EMCといった企業と同時期にBSAに参加しました。「ハイテク産業の根幹ともいえる、知的財産保護の強化、サイバー犯罪の撲滅、音楽ファイル交換ポリシーという点で、我々の見解は一致しています」と、BSA社長兼CEOを務めるRobert Holleyman氏は述べています。「CA、EMC、Monotype Imaging、Teklaがパートナーとして参加してくれたことによる価値は計り知れません。この新しく加わった3社とBSAがともに、啓発教育や強化イニシアティブを通して、世界市場におけるITの発展に貢献できることは素晴らしいことです」と同氏は続けています。

[トップページに戻る](#)

> 建設のプロジェクト全体を通じた統合的コラボレーション

建設プロジェクトの異なる分野間での効率的なコラボレーションにより、Tekla Structuresは統合的な生産性の向上を実現しました。フィンランドのKotka市からの依頼を受けて、Kotkaの古い港にある海洋センター「Vellamo」が2007年末に完成しました。2つの博物館を有する同センターは、海の波をイメージさせる印象的なランドマークとなっています。またこの建物は、Tekla Structuresの3Dおよび4D機能を駆使した最新の成功例でもあります。

建物のフレームは建築業者であるLemcon Oyによって、Tekla Structuresの4Dモデルを使用して建てられました。この4Dモデルには架設スケジュールも含まれており、コンサルティングエンジニアであるMagnus Malmberg OyがTekla Structuresを使用して作成した構造モデルが基となっています。この建物のフレームを供給するファブリケーターである、H-Steel Oy Ltdの製作スケジュールも、同一のモデルにリンクされていました。

近年の建設に要求される厳しい納期スケジュールを遵守するには、効率的なソリューションが必要でした。追加の資金を集めるために工事の開始が遅れたので、Vellamoの複雑な鉄骨フレーム形状や、その関連設備の架設スケジュールは特に厳しいものになっていました。重さ2千トン以上の鉄骨フレームを6ヶ月間たらずで設計、製造、架設しなければなりませんでした。

「Vellamoなどの現場には、膨大な数の鉄骨構造図面がつきものですが、建築情報モデルを使用すれば、どのような部材の構造図面でも簡単に探し出すことができます。このモデルにより、特定のブロックやセクションの構成リストを容易に作成できるので、設計、製造、納品、設置にいたるまでの建設の一連の流れ全体を見て計画を立てることが可能になりました」とLemconのプロジェクト技術者、Matti Partanen氏は語っています。これらリストは、重量、プロファイル寸法、設置番号など、それぞれの構成要素のすべての必要な詳細情報がリストアップされています。架設計画にもこのリストを利用し、製造工場での物流や製作の計画も、2D図面を使用した場合よりも、より簡単に作成できるようになりました。

構造設計を請け負った会社で作成された3D構造モデルは、Tekla Structuresを使用して作成され、建設業者が作成した4Dモデルの基礎となっています。その4Dモデルにはフレーム構造の製造および架設に必要な、設計および架設計画の詳細、さらにすべての技術情報も含まれています。さらに、建物フレームを供給するエンジニアリング工場の製作スケジュールも、このフレームモデルにリンクされていました。このようにして、設計や製造の状況に関する最新の情報が常に建設現場に供給されていたのです。「このモデルを使うことで、現場で必要とされる確認作業が大幅に削減され、あらゆる不具合を事前に発見することが可能となり、さらに計画の作成や管理を大幅に効率化することができました」とPartanen氏は説明しています。

このプロジェクトで鉄骨フレームを供給した工場などの関連業者がプロジェクト管理に加わることで、建築物の詳細な構成要素のデータを持つ建築情報モデルは、さらに効果的に活用することが可能となります。Teklaにおいて建設業者向け製品のプロダクトマネージャを務めるJukka Suomi氏は、「極めて高い機能性を誇る製品モデルは、オーケストラの全員の動きを管理して正確に曲を奏でる交響曲の楽譜のようなものです」と述べています。今後、建設プロジェクトの管理や実施の際に、架設計画や建設現場のメンテナンスなどにおいて、構造データのモデルがより頻繁に広範囲で使用されるようになるでしょう。Building Information Modeling (BIM)を使用することにより得られるメリットは計り知れず、今後数年のうちにBIMが建設業界での標準的な技術となることは間違いありません。



> 初期基本設計段階での IFC2x3標準規格との密接なコラボレーション

オープンなデータ交換をサポートするTeklaにとってさらに画期的な出来事が、もっとも優れたBIMアプリケーションであるTekla Structuresの利用を促進することになりました。3月13日、米国ボストン近郊のウォルサムにて、Tekla StructuresがIFC 2X3標準規格認定を取得しました。同標準規格は、他の業界ソフトウェアとの間で高精度なインターフェイスを構築できるベンダーであるということを確認するものです。今春に発表したTekla Structures 13のメインリリースには、IFC 2x3フォーマットが含まれています。

スカンジナビア地域でエンジニアリングおよび施工管理のナレッジサービスを提供する、業界大手のRambøllはTekla Corporationと協同で、BIM (Building Information Modeling)を実装し、IFC 2x3標準に準拠したTekla Structuresを使用して注目されたプロジェクトに取り組みました。

RambøllはレイキャビクのHenning Larsen Architects建築設計事務所とともに、アイスランド国立コンサートおよびカンファレンスセンター建設プロジェクトの入札を勝ち取りました。Rambøllは、IFC (Industry Foundation Classes) 2x3標準を使用して、Tekla Structuresと別の建築ソフトウェア間でのデータ交換を行いました。「IFC 2x3フォーマットをテストした結果、Tekla StructuresがIFC準拠ファイルのエクスポートとインポートを完全に行うことができることを確認したのです」と、Rambøll Denmarkのチーフコンサルタントを務めるJan Karlshøj氏は語っています。

IFC 2x3標準規格は、2段階プログラムから成り立っています。まず、IFCの第一段階となるのは、異なるソフトウェアベンダー間で行うテストです。第二段階は、それらの会社がIFCフォーマットを使用して実際のプロジェクトに取り組むことが必要とされます。Rambøll Denmarkは、デンマークのØrestadshusetにある、12階建ての住居用建物の実際のプロジェクトでTekla Structuresのテストを行いました。アイスランドのコンサートおよびカンファレンスセンターおよびØrestadshusetにある建物は、どちらも大規模で複雑なプロジェクトであったため、Tekla Structuresの3Dモデルと業界標準のシステムとのコラボレーションが大いに性能を発揮しました。同標準規格認定の取得は、ソフトウェアベンダーとしてIFC標準を支持し続けるという証しでもあります。

「デンマークの建設業界におけるプロジェクト関係者の効果的なコラボレーションに対するニーズは急増しています」とKarlshøj氏は続け、「これにより、建築プロジェクト全体を通して3Dオブジェクトベースのモデルの使用と共有が促進されるでしょう。Rambøllでは、我々はこれまでの結果に非常に満足しており、当社のクライアントからの要望に応えるため、将来的にすべての建築プロジェクトにおいて3Dオブジェクトベースのモデルを作成していくことになると考えています」と語っています。

Teklaの製品スペシャリストであるLassi Liflander氏は、こう語っています。「Rambøllとの協力で、強化されたインターフェイスが他社の建築ソリューションとの間で実際に正常に動作することを証明したことにより、我々はBIMのワークフローをさらに一歩進めることができました。Tekla StructuresはIFC 2x3標準規格を今後も継続してサポートしていきます」

[トップページに戻る](#)

> 本日のお役立ちヒント: ショートカットを活用しましょう!

Tekla Structuresのショートカットを活用していますか? バージョン13に追加された便利なショートカットをご覧ください。

> [Keyboard Shortcuts \(pdf\)](#)

More information at: www.tekla.com

Tekla is either a registered trademark or a trademark of Tekla Corporation in the United States and other countries.

@ Tekla Corporation 2007